

# スマホからアクセスできる自治会専用ホームページの開設による地域情報の発信と情報共有に必要な環境の整備と運用に必要な研修事業

上甲子園1丁目福祉会

事業費 128,516 円  
助成額 100,000 円

## ●当初の課題・事業目的

地域住民の高齢化、共働きによる日中不在世帯の増加、マンション住民の増加等により、町会だより等紙媒体の回覧や掲示による従来型情報発信では、迅速かつ確実な情報伝達が年々難しくなっています。自治会活動の円滑な運営と活性化を図るには、地域住民に対する新たな情報発信と伝達の手段を導入し、地域住民の自治会活動に対する理解を深め、参加意識を高めることが必要不可欠な課題になっています。本事業の目的は、地域住民の自治会活動に対する理解を深め、自治会活動への参画を促進するために、自治会の新しい情報伝達手段としてホームページを使った情報環境を整備し、地域住民のあらゆる世代を対象に、必要な時に必要な情報（自治会、行政、各種団体等が発信する情報）に何時でも何処でも簡単にスマホを使ってアクセスできるようにすることにあります。



会長 松分 良雄

## ●事業概要

- ・対象者：上甲子園1丁目福祉会を構成するあらゆる世代の住民
- ・事業内容：スマホを使ってアクセスできる専用ホームページの開設と維持運営、およびホームページの利用促進活動。
- ・実施方法：福祉会が所有する集会所を拠点にした住民向け講習会の開催。  
(ホームページを維持運営するために必要な人材育成を含む)
- ・独創性：当福祉会の情報だけでなく、西宮市の行政情報、春風公民館情報、社会福祉協議会情報、甲子園警察防犯情報等とリンクし、住民が福祉会専用ホームページを介して生活に必要な情報に簡単にアクセスできる環境を構築する。



## ●事業の成果・工夫した点

事業の成果として、新型コロナウイルス感染拡大の中①11月15日から正式HPの運用を当初計画通り開始できたこと②HP編集委員として、2名の新たな人材を確保できたこと。およびHPの運営を技術面からサポートいただく優秀な専門家を獲得できたこと③スマホ初心者に対する勉強会を開催し、日本社会のデジタル化の動きに合わせて高齢会員がスマホをマスターし利用する機会を提供できたこと④データを保管するサーバーについて、HP管理責任者が変わってもHPが安定して運用できるよう工夫したこと

## ●苦勞した点・今後の課題

①HPの有用性について福祉会会員の理解が十分に得られ浸透するまで時間がかかるなど感じています。HP利用者を一人でも多く得るための継続的かつ不断のアイデア出しと会員ニーズの把握が今後も継続的な課題となっています。②新型コロナウイルス感染拡大下で福祉会行事の殆どが中止となる中、会員の関心が高いイベント関連情報の更新・充実が思うように図れず記事づくりに苦勞しました。③会員の個人情報保護への取り組みが今後の課題。④会員のニーズに合ったHPコンテンツの開拓および記事の訴求力を高めるコンテンツづくりについて継続的な改善が必要です。

## ●責任者の感想

デジタル社会が進行する中で、高齢化する住民に対する自治会の福祉活動は、共助社会を維持するためにより重要性が増していると感じるものの、共助の一翼を担う自治会活動は後継者不足から存続の危機に立たされているのが現実です。住民の自治会活動に対する理解と参加意識を高めるには、地域住民のニーズに即して自治会活動の在り方を抜本的に見直す必要があると感じています。その第一歩として住民の日常生活に係わる地域情報の発信力強化と共有方法を抜本的に見直すこととしました。スマホからアクセスできる福祉会専用HP開設の取り組みは、その一歩であると考えています。また、西宮市と連携してHPを介して行政情報とワンストップで繋がる情報環境を整備・強化することが、西宮市の行政サービスの質を高める上でより重要になってくると考えています。